中間前金払認定調書

|  |  |
| --- | --- |
| 受 注 者 |  |
| 工 事 名 |  |
| 工事場所 |  |
| 工　　期 | 令和　年　月　日から令和　年　月　日まで（　か月） |
| 請負代金額 |  |
| 前金支払日 |  |
| 経過工期 |  |
| 進捗状況 |  |
| 工事進捗額 |  |
| 上記の工事についてその進捗を調査したところ、中間前金払をすることができる条件を満たして【いる又はいない】と認定する。  令和　　年　　月　　日  認定者  施設○○課長  ○　○　○　○　㊞ | |

工事請負代金中間前払金請求書

合計金額　　　　　　　　　　　　円也（税込）

（内消費税（10％）　　　　　　　　円を含む）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目　名 | 数量 | 単位 | 単価(税抜) | 金額(税抜) |
| （請負工事の表示） | １ | 式 |  |  |
| 小計(税抜) | |  |
| 消費税(10％) | |  |
| 合　計(税込) | |  |

但し、令和　　年　　月　　日付け契約書（契約）に基づく（請負工事の表示）の

請負代金額　　　　　　　　　　　　円の中間前払額として、上記の金額をお支払いくださるよう、（中間前払金保証事業会社の会社名）の保証証書を添えて請求します。

令和　　　年　　　月　　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

受注者

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名　　　　　　　㊞】

【登録番号 】

「工事請負代金中間前払金請求書」記入要領

１．請求する上で具備すべき要件について

・前払金を請求し受領していること。

・工期が２分の１以上経過し、かつ、その時点で完了しておくべき工事が完了していること。

・工事出来高が工事請負代金額の２分の１以上に達していること。

上記の３つの要件を満たしていることを証明する書類等を添付した中間前払金認定請求書提出後、監督職員より認定を受けた時点ではじめて請求することができる。

２．記入については、「工事請負代金前払金請求書」記入要領による。

令和　　年　　月　　日

工事進捗状況報告書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工事名 | |  | | | | | | | | | | | | |
| 監督職員 | |  | | | | 現場代理人 | | | | | | | | |
| 受注者 | |  | | | | 請負金額 | | |  | | | | | |
| 契約期間 | | 自　令和　年　月　日  至　令和　年　月　日 | | | | 報告時期 | | | 令和　　年　　月　　日現在 | | | | | |
| 工事進捗状況 | 土工事  地業工事  鉄筋工事  ｺﾝｸﾘｰﾄ工事  鉄骨工事  組積工事  防水工事  石工事  タイル工事  木工事  屋根及びとい工事  金属工事  左官工事  建具工事  カーテンウォール工事  塗装工事  内装工事  ユニットおよびその他工事  排水工事  舗装工事  植栽及び屋上緑化工事 |  |  |  |  | |  |  | |  |  |  |  | 100％  80  60  40  20  0 |
| 月 | Ｈ○年  ６ | ７ | ８ | ９ | | １０ | １１ | | １２ | Ｈ○年  １ | ２ | ３ |  |
| 出来高　予定  　　　　実施 | | ○％□％ | ○％□％ | ○％□％ | ○％□％ | | ○％□％ | ○％□％ | | ○％□％ | ○％□％ | ○％□％ | ○％□％ |  |
| 備考 | | ―――　実施  ‐‐‐　予定 | | | | | | | | | | | | |

工事（進捗）記録写真

|  |
| --- |
| ※写真については、進捗状況がある程度把握できるような写真枚数を貼付する |
| 写真説明　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　月　日撮影 |
|  |
| 写真説明　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　月　日撮影 |

工事既済部分検査調書（第　　回分）

１　工事名

２　受注者　　【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

３　請負代金額　　金　　　　　　　　円也（内消費税額　金　　　　円を含む）

４　契約年月日　　令和　　年　　月　　日

着工年月日　　令和　　年　　月　　日

完成年月日　　令和　　年　　月　　日

上記工事は、契約書、仕様書及び図面その他の関係書類に基づき、工事既済部分検査を行った結果、別紙内訳書のとおり金○○円也の既済部分があることを確認する。

令和　　　年　　　月　　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

検査職員

施設○○課長

○　○　○　○　　　　　　　㊞

変更契約書

工事名

令和　　年　　月　　日付け契約書に基づく上記工事の契約について次のとおり変更する。

１　別冊設計変更図面及び仕様書を追加すること。

２　本設計変更により請負代金額を金　　　　　円也増額（減額）すること。

　　うち取引にかかる消費税及び地方消費税の額　金　　　　　　　円也

　　〔増減額を生じない場合は、記載を要しない。〕

３　完成期限　令和　　年　　月　　日を、令和　　年　　月　　日とすること。

〔工期の延長（短縮）がある場合に記載する。〕

この証として、本書２通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自１通を保有する。

令和　　年　　月　　日

発注者

津市栗真町屋町1577番地

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　　　　　　　　　　　㊞

受注者

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名　　　　　　　　　㊞】

令和　　　年　　　月　　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

受注者

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

工期延長申請書

下記の工事について、国立大学法人三重大学工事請負契約基準第22により、工期延長を申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 工事名 |  |
| 契約年月日 | 令和　　年　　月　　日 |
| 工期 | 自　　令和　　年　　月　　日  至　　令和　　年　　月　　日 |
| 延長工期 | 自　　令和　　年　　月　　日  至　　令和　　年　　月　　日 |
| 理由 |  |

（注）必要により下記書類を添付すること。

　　a 工程表（契約当初工程と現在までの実際の工程及び延長工程の3工程を対象させ、詳細に記入）

　　b 天候表、気温表、湿度表、雨量表、積雪表、風速表等工期中と過去の平均とを対照し最寄気象台等の照明塔を受けること。

　　c 写真、図面等

　理由は詳細に記入すること

三大施○第　　　号

令和　　年　　月　　日

〔　受注者　〕　殿

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　　　㊞

工期延長（短縮）依頼書

工事名

令和　　年　　月　　日付け契約書に基づく上記工事については、鋭意工事の進捗に努力していただいておりますが、（下記事由により）、工期を○○日延長（短縮）し、完成期限を令和　　年　　月　　日に延長（短縮）したいので御承諾ください。

なお、上記につき御了承の上は、これに伴う変更契約書及び変更工程表を提出してください。

記

（※　延長理由を記載してください。）

三大施○第　　　号

令和　　年　　月　　日

〔　受注者　〕　殿

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　　　㊞

工期の延長について

工事名

　さきに願い出のあった令和　　年　　月　　日付け契約書に基づく上記工事については、国立大学法人三重大学工事請負契約基準第22の規定に基づき事情やむを得ないものと認められるので、完成期限令和　　年　　月　　日を令和　　年　　月　　日まで延長することに同意します。

　なお、これに伴う変更契約書及び変更工程表を提出してください。

令和　　　年　　　月　　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

受注者

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

損害発生報告書

　令和　　年　　月　　日付け契約書に基づく（請負工事の表示）については、鋭意工事の進捗に努力していますが、令和　　年　　月　　日に起きた〔　　　事象の内容　　　　〕により、別紙内容の損害が発生したので報告します。

三大施○第　　　号

令和　　年　　月　　日

〔　受注者　〕　殿

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　　　㊞

損害負担承認申請書

１　損害発生の状況

２　損害を負担しようとする理由

３　負担しようとする金額

４　その他必要事項

５　添付書類

1. 受注者からの損害発生報告書
2. 負担しようとする金額の算出内訳計算書
3. 負担しようとする金額の算定基礎となった予定価格算出内訳明細書
4. 発注者受注者間の損害額に関する協議内容
5. 関係設計図書、現場写真等
6. その他

三大施○第　　　号

令和　　年　　月　　日

〔　受注者　〕　殿

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　　　㊞

損害状況確認結果通知書

　令和　　年　　月　　日付け契約書に基づく（請負工事の表示）について、令和　　年　　月　　日に発生した〔　　事象の内容　　　〕による損害発生の報告について確認を行った結果、別紙内容を損害と認めますので、通知します。

損害額請求書

合計金額　　　　　　　　　　　円也（税込）

（内消費税（10％）　　　　　　　円を含む）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目　名 | 数量 | 単位 | 単価(税抜) | 金額(税抜) |
| （請負工事の表示） | １ | 式 |  |  |
| 小計(税抜) | |  |
| 消費税(10％) | |  |
| 合　計(税込) | |  |

但し、令和　　年　　月　　日付け契約書に基づく（請負工事の表示）の（事象の内容）による損害額

なお、この内容については、別紙内訳書のとおりとなりますので内訳書を添えて請求します。

令和　　　年　　　月　　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

受注者

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名　　　　　　　㊞】

【登録番号 】

検査調書

１　工事名

２　受注者 【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

３　請負代金額 金　　　　　　　円也（内消費税額　金　　　　円を含む）

４　契約年月日 令和　　年　　月　　日

着工年月日 令和　　年　　月　　日

完成年月日 令和　　年　　月　　日

上記工事は、契約書・仕様書及び図面その他の関係書類に基づき検査を行った結果、これらのとおり完成したことを確認する。

令和　　年　　月　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

検査職員

職　名　施設部施設○○課長

氏　名　○　○　○　○　　㊞

（注）

検査の時期は相手方から給付を終了した旨の通知を受けた日から起算して14日以内に（その末日が休日に当たるときは、その翌日まで）に行わなければならないこと。

（政府契約の支払遅延防止等に関する法律第5条第1項参照）

上記「４　完成年月日」は実際に工事が完了した年月日を記入すること。

工事請負代金最終回払請求書

合計金額　　　　　　　　　　　円也（税込）

（内消費税（10％）　　　　　　　円を含む）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目　名 | 数量 | 単位 | 単価(税抜) | 金額(税抜) |
| （請負工事の表示） | １ | 式 |  |  |
| 小計(税抜) | |  |
| 消費税(10％) | |  |
| 合　計(税込) | |  |

　但し、令和　　年　　月　　日付け契約書（契約）に基づく（請負工事の表示）の請負代金の最終回分として、上記の金額をお支払いくださるよう請求します。

　　《算出内訳》

金　　　　　　　　　　　円也　　請負代金額

金　　　　　　　　　　　円也　　前払金受領額

金　　　　　　　　　　　円也　　今回請求額

令和　　　年　　　月　　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

受注者

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名　　　　　 　　㊞】

【登録番号 】

「工事請負代金最終回払請求書」記入要領

１．国立大学法人三重大学工事請負契約基準第33第1項に基づき作成するものである。

２．請負代金の前払金のあったときの様式である。

３．更に中間前払金があった場合は、下記を記入すること。

　　「金　　　　　円也　　中間前払金受領額」

４．部分払金があった場合は、下記を記入すること。

　　「金　　　　　円也　　第　回部分払金受領額」

５．その他の記入は、「工事請負代金請求書」の記入による。

工事指定部分検査調書

１　工事名

２　受注者 【住　所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

３　請負代金額 金　　　　　　　円也（内消費税額　金　　　　円を含む）

４　契約年月日 令和　　年　　月　　日

着工年月日 令和　　年　　月　　日

完成年月日 令和　　年　　月　　日

上記工事は、契約書・仕様書及び図面その他の関係書類に基づき検査を行った結果、部分引渡に係る指定部分について、これらのとおり完成したことを確認する。

令和　　年　　月　　日

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

検査職員

職　名　施設部施設○○課長

氏　名　○　○　○　○　　㊞

令和　　年　　月　　日

完成検査結果通知書

〔　受注者　〕　　殿

検査職員

国立大学法人三重大学

施設部施設○○課長

○　○　○　○

記

下記工事は、契約書、仕様書、図面及びその他関係書類に基づき（再）検査を行った結果、これらのとおり完成していることを確認しました。

記

１　工事名

２　請負代金額　　　金　　　　　　　円也

３　契約年月日　　　令和　　年　　月　　日

　　着工年月日　　　令和　　年　　月　　日

　　完成年月日　　　令和　　年　　月　　日

　　完成検査年月日　　　令和　　年　　月　　日

　（完成再検査年月日　　　令和　　年　　月　　日）

令和　　年　　月　　日

完了検査結果通知書

〔　受注者　〕　　殿

検査職員

国立大学法人三重大学

施設部施設○○課長

○　○　○　○

記

下記業務は、契約書、仕様書、図面及びその他関係書類に基づき（再）検査を行った結果、これらのとおり完了していることを確認しました。

記

１　設計業務名

２　委託報酬の額　　　金　　　　　　　円也

３　契約年月日　　　令和　　年　　月　　日

　　設計業務開始年月日　　　令和　　年　　月　　日

　　設計業務完了年月日　　　令和　　年　　月　　日

　　完了検査年月日　　　令和　　年　　月　　日

　（完成再検査年月日　　　令和　　年　　月　　日）

令和　　　年　　　月　　　日

手直し完了報告書

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○　　殿

受注者

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

本工事の完成検査において指示のありました下記手直し事項は、令和　　年　　月　　日に全部完了したので報告します。

記

１　工事名

２　工事場所

３　手直し事項

三大施○第　　　号

令和　　年　　月　　日

受注者

○○県○○市○○○○○○

株式会社○○○○

代表取締役　　○　○　○　○　　殿

国立大学法人三重大学

学長　　○　○　○　○

工事成績評定通知書

工事名

令和　　年　　月　　日契約の上記工事について、工事成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、当職に対してその疑問の旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に書面により、説明を求めることができる。

疑問の旨に対する説明は、書面により回答いたします。

記

１．工期 令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日

２．完成検査 令和○○年○○月○○日

３．評定点 ○○点

なお、評定項目別評定点は、別表１のとおり

（修正評定点 点

【評定が修正された場合のみ】　）

４．本件についての問い合わせ先

（部局工事の場合）

〒514-8507　三重県津市栗真町屋町1577

国立大学法人三重大学　施設部施設○○チーム　　　電話059-231-○○○○（直）

**評定項目別評定点**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大　　項　　目 | 小　　項　　目 | 評定点／満点 |
| １．工事特性 | Ⅰ．施工体制一般 | ○○／３．３点 |
| Ⅱ．配置技術者 | ○○／４．１点 |
| ２．施工体制 | Ⅰ．施工管理 | ○○／１３点 |
| Ⅱ．工程管理 | ○○／８．１点 |
| Ⅲ．安全対策 | ○○／８．８点 |
| Ⅳ．対外関係 | ○○／３．７点 |
| ３．出来形及び出来ばえ | Ⅰ．出来形 | ○○／１４．９点 |
| Ⅱ．品質 | ○○／１７．４点 |
| Ⅱ．出来ばえ | ○○／８．５点 |
| ４．高度技術 | Ⅰ．高度技術 | ○○／７．８点 |
| ５．創意工夫 | Ⅰ．創意工夫 | ○○／５．７点 |
| ６．社会性等 | Ⅰ．地域への貢献等 | ○○／５．２点 |
| ７．法令遵守等（減点のみ） |  | ○○点 |
| **評定点合計** |  | ○○／１００点 |

※平成22、23年度契約分については、上記評定点にて評価を行うこと。